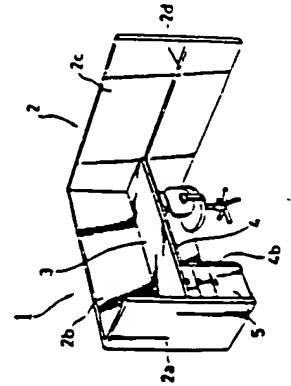


(54) SYSTEM PARTITION

(11) 3-93944 (A) (43) 18.4.1991 (19) JP
(21) Appl. No. 64-230167 (22) 5.9.1989
(71) YAMAHA CORP (72) MINORU MITSUOKA
(51) Int. Cl. E04B2 74.A47B5/06

PURPOSE: To effectively use a space by attaching a partition table to a partition wall surrounding the table at three sides, and by arranging a slidable table underneath the table.

CONSTITUTION: A partition table 2 is attached to a partition wall 2 composed of panel members 2a, 2b, 2c surrounding three sides of an office space. Further, a slidable table 4 attached thereto with leg parts 4b which are slidable over the surface of a floor by means of casters is arranged underneath the partition table 3 so that the slidable table can be moved along a rail part 2d of the panel member 2c.



1: system partition

⑤ Int. Cl.³

E 04 B 2/74
A 47 B 5/06

識別記号

5 4 1 C

庁内整理番号

6951-2E
8608-3B

④ 公開 平成3年(1991)4月18日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑥ 発明の名称 システムパーティション

⑦ 特 願 平1-230187

⑦ 出 願 平1(1989)9月5日

⑧ 発 明 者 笠 岡 賢 静岡県浜松市中沢町10番1号 ヤマハ株式会社内

⑨ 出 願 人 ヤマハ株式会社 静岡県浜松市中沢町10番1号

⑩ 代 理 人 弁理士 秋元 輝雄

明 細 書

1. 発明の名称

システムパーティション

2. 特許請求の範囲

3枚のパネル部材を縦方向に連続配置してなるパーティションウォール(2)と、

対面する2枚のパネル部材間に配置されたパーティションテーブル(3)と、

キャスターを介して床面に移動可能に設ける支脚部を一端に備え、かつ対面する一方の固定パネル部材に該パネル部材の縦方向に他端が移動可能に支持されて、前記パーティションテーブル下に格納可能に設けられたスライドテーブル(4)と、

を具備したことを特徴とするシステムパーティション。

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本発明は、事務フロアなどを仕切って小区画の

事務スペースを構成するシステムパーティションに関するものである。

(従来の技術)

昨今の事務フロアにおいては、複数枚のパネル部材を連続したパーティションウォールを利用して形成されていた事務テーブルを区切り、個々の事務スペースを独立させ、作業効率の向上などが図られるようになってきている。

(発明が解決しようとする課題)

しかしながら、上記したパーティションウォールを利用した従来の区画方法では、個々の事務スペースの広さがほぼ限定されたものとなってしまったため、他の作業スペースが必要となった場合、小人数での簡単な打合せなどを行おうとしても、その場では作業や打合せに合った事務スペースの拡大や収縮ができず、他のスペースそして会議室などを利用しなければならないという不都合な点があった。

そこで本発明は、個々の事務スペースの区画が行えたとともに、事務スペースの拡大が容易に行

えるようにすることを課題とし、事務フロアなどの空間の有効利用を図ること、目的とする。

〔課題 解決するための手段〕

本発明は、上記した課題を考慮してなされたもので、3枚のパネル部材を略□状に連続配置してなるパーティションウォール(1)と、対面する2枚のパネル部材間に配置されたパーティションテーブル(2)と、キャスターを介して床面に移動可能に接する支脚部を一端に備え、かつ対面する一方の前記パネル部材に該パネル部材の端方向に他端が移動可能に支持されて、前記パーティションテーブル下に格納可能に設けられたスライドテーブル(3)と、を具備したことを特徴とするシステムパーティションを提供して、上記課題を解決し目的を達成するものである。

〔作用〕

本発明においては、スライドテーブルを一般作業テーブルであるパーティションテーブルの下部に格納した状態で、一人用の事務スペースが得られ、またスライドテーブルをパネル部材に沿って

引き出すことにより、この事務スペース内にもう一つのテーブルが得られ、実質的に作業が行える空間が倍々 よくなる。

〔実施例〕

つぎに、本発明を第1図から第3図に示す一実施例に基づいて詳細に説明する。

図中1はシステムパーティションで、該システムパーティション1は、事務スペースのほぼ三方を囲むパーティションウォール2と、このパーティションウォール2に取り付けられたパーティションテーブル3と、前記パーティションテーブル3の下に配置されたスライドテーブル4とを備えたものである。そして前記パーティションウォール2は、3枚のパネル部材2a、2b、2cを略□状に連続配置してなるもので、平行に対面するパネル部材2a、2cの間に前記パーティションテーブル3が取り付けられている。

またスライドテーブル4は、キャスター4aを介して床面に移動可能に接する支脚部4bを一端に備えたとともに、他端が長尺に設けられたパネ

ル部材2cの端方向に亘って設けられたレール部2dに移動可能に支持されている。すなわち前記スライドテーブル4は、パーティションテーブル3の下に格納できるとともに、前記パネル部材2cに沿って後方に引き出すことができる。

この構造によってシステムパーティション1は、第1図に示すようにパーティションテーブル3の下部にスライドテーブル4を格納した状態で一人用の事務スペースとなり、第2図に示すようにスライドテーブル4をパネル部材2cの最側端まで引き出すと、このスライドテーブル4をパーティションテーブル3のサブテーブルとして利用して作業スペースが拡大する。さらに、第3図に示すように、スライドテーブル4をパネル部材2cの中間に位置させることによって、このスライドテーブル4を隔にして小人数の人員が対面できるようになり、システムパーティション1で構成されたこの事務スペース内に小人数が打合せするようなスペースが確保できるようになる。

図中5はキャスターを備えて直立した引き出し

を示し、図示の実施例にあっては、この引き出し5がパーティションテーブル3の下部側方においてパネル部材2aと支脚部4bとの間に配置される。またスライドテーブルをパネル部材2a、2c間に亘るものとし、このスライドテーブルの下に前記引き出しが配置できる構造としてもよい。

〔発明の効果〕

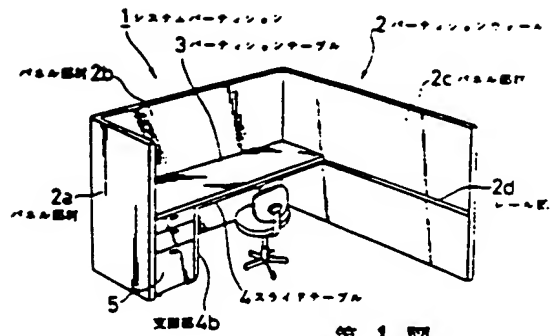
以上説明したように、本発明のシステムパーティションは、3枚のパネル部材を略□状に連続配置してなるパーティションウォールと、対面する2枚のパネル部材間に配置されたパーティションテーブルと、キャスターを介して床面に移動可能に接する支脚部を一端に備え、かつ対面する一方の前記パネル部材に該パネル部材の端方向に他端が移動可能に支持されて、前記パーティションテーブル下に格納可能に設けられたスライドテーブルとを具備したので、フロアなどの空間を小人数の事務スペースに区画できるとともに、個々の事務スペースにあっては、スライドテーブルの移動によってパーティションテーブルの他にテーブ

ルが必要に応じて簡単に得られ、個々の事務スペースの有効利用が図れ、假令はフロア全体の空間の有効利用が図れ、など、実用性にすぐれた効果を奏するものである。

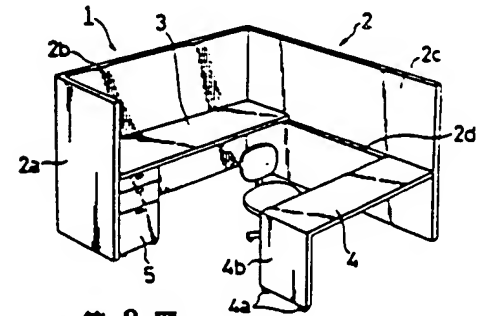
4. 図面の簡単な説明

図面は本発明に係るシステムパーティションの一実施例を示すもので、第1図はスライドテーブルを格納した状態を示す説明図、第2図はスライドテーブルを最大に引き出した状態を示す説明図、第3図はスライドテーブルを中間に位置させた状態を示す説明図である。

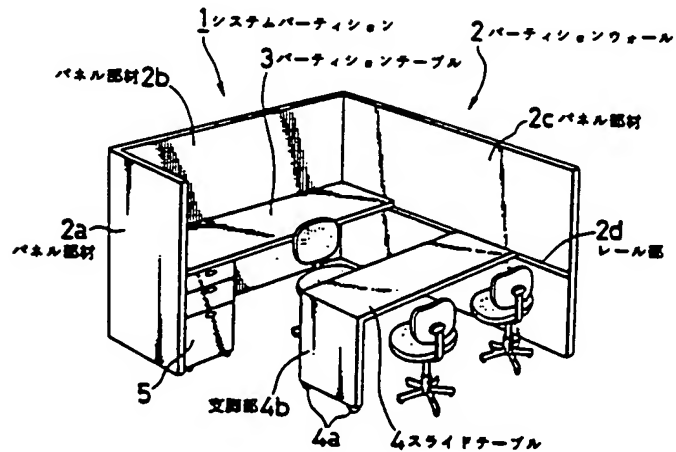
- 1---システムパーティション
- 2---パーティションウォール
- 2a、2b、2c---パネル部材
- 2d---レール部
- 3---パーティションテーブル
- 4---スライドテーブル
- 4b---支脚部



第1図



第2図



第3図